

# 銀嶺

Ginrei  
(長野県長和町)



今回紹介するのはエコーバレースキー場にある銀嶺という宿の風呂だ。銀嶺はゲレンデすぐ近くにある至極便利な宿である。建物はかなり古い。

中に入ると右手にフロントが見える。左手はレストラン兼食堂である。少々煙たいが、その原因は巨大な薪ストーブのせいだ。次から次に薪がくべられている。

客室は2階。風呂も2階にある。客室は外周部に面して配置されているが、2室だけが中央の窓のない部屋で、可動間仕切りを開放すると1室として使えるようになっている。取材班はこの中央の2室を使うことになった。おかげで宴会場所には事欠かない。

風呂は男女別であるが、宿の規模にしては少々狭いのではと思う。脱衣室には棚があるだけで籠はない。貴重品は客室に置いてくるか、フロントに預けよう。

浴室は洗い場が3か所。リンスインシャンプーとボディーソープは完備している。浴槽は定員3人程度か。つまり、浴室の定員は最大6人といったところだが、脱衣室は4人が限界のような気がする。ちなみにこの風呂は温泉ではない。沸かし湯だ。

スキーの疲れを癒すには風呂は不可欠である。本日は、エコーバレーの上部ゲレンデで、貸し切りにて一日中ポール練習に明け暮れた。エコーバレーの雪質は、人工雪らしく硬い。最上部は急斜面のアイスバーンだ。急斜面の下は緩斜面が続く。皆がこの急斜面の攻略に手を焼いていた。ターンをしたい場

所でターンができず、どんどん下へ体が落とされてしまう。これに抗うことで、体力が消耗していく。体力が消耗してくると、ゲレンデ中腹にあるフリーショートポールへ移動。ここならポールが体に当たって青あざを作る心配もない。15:00 過ぎの練習終了後は風呂に直行するしかなかった。

エコーバレーは晴天率は高いが、風が強い日が多いという。しかし、取材した2日間はいずれも穏やかな晴天であった。ラッキーである。風が強いと自分の滑走スピードが良いのか悪いのか判別できなくなってしまう。

銀嶺の乾燥室にはステンレス製の立派なチューンアップ台がある。幅広で押しでもびくともしない。しかし、よく見ると、これは厨房用の作業台ではないかと思う。かなり高価な商品であろう。実に贅沢である。

ちなみに銀嶺のレストランでは、カツ丼が有名らしい。肉厚で、注文を受けてから調理されるので、揚げたてのトンカツを味わうことができる。注文を受けてから作るのはカツ丼だけではない。オムライスも同様だ。ちなみに、カツ丼用のトンカツとカツカレー用のトンカツでは、微妙に肉の厚みが異なる。風呂、晴天、硬いバーン、ポール、トンカツ。エコーバレーと銀嶺には、スキーヤーが求めるものがあった。

DATA

名称	銀嶺
所在地	長野県小県郡長和町姫木平 3518-728
電話	0268-69-2711
営業時間	要確認
定休日	要確認
入浴料	宿泊者は無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2019 年 2 月 16 日～17 日
取材	銭湯愛好会東京支部